

1. 科目名 (単位数)	文章表現 (2単位)	3. 科目番号	GELA1107
2. 授業担当教員	新井 英男		
4. 授業形態	講義、グループワーク、演習 (論作文)、発表	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	<p>大学での講義及び演習 (ゼミ) では、レポートを書いたり発表したりという表現力が要求される。この授業では、大学での学習や研究に必要な「書く」技術の基礎訓練を行うことをねらいとしている。</p> <p>したがって、目標とされるのは、文学的表現や美文調の修辞等ではなく、むしろ簡潔で明快な文章の表現法である。文法・文字表記の正しさ、語彙選択の適切さ、表現の的確さ、わかりやすさ、文章構成の明確さ、論理の一貫性などに重点をおいて学習する。</p> <p>本科目の授業を通じて表現力やコミュニケーション能力を養うことは、大学段階にとどまらず、今後の社会でますます重要となってくるものであることを認識する必要がある。</p>		
8. 学習目標	<p>以下について学習・理解し、レポート・論文が書けるようになることを学習目標とします。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 コメントペーパーやレポート・論文等の書き方に関する基礎的・基本的事項を理解し説明できるようになる。</li> <li>2 わかりやすい言葉 (表現方法) で、明瞭で論理的な文章を書く技術を習得する。</li> <li>3 実践的な訓練を通して、自分の考えや意見を論理的に述べる文章表現力を身に付ける。</li> <li>4 定評のあるオピニオン誌の論文や新聞の社説などに触れ、現実の捉え方やものの見方を学ぶ。</li> <li>5 文章の読解力と文章の構成力を養い、文章表現に対する苦手意識を払拭する。</li> </ol>		
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 学習課題に指示した事前学習・事後学習を必ず行った上で授業に参加すること。</li> <li>2) レポートを作成し、提出すること。詳しい作成方法などについては、授業中に説明する。</li> <li>3) 授業を受けたら、毎回150字程度の理解した内容や感想等を学習カードに書いて提出すること。(オンライン授業の場合は、第5回、第10回、第15回のときに、5回ごとにまとめた学修カードをメールで提出すること。)</li> </ol>		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 坂東実子『大学生のための文章表現練習帳』第2版 国書刊行会。</p> <p>【プリント教材】 授業内でプリントを配付する。</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. コメントペーパーやレポート・論文等の書き方に関する基礎的、基本的事項を理解しているか。</li> <li>2. 分かりやすい表現方法や明瞭かつ論理的な文章を作成する力がついたか。</li> </ol> <p>○評定の方法</p> <p>授業への積極的参加度、日常の受講態度、レポート等を総合して評価する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 積極的参加度 (発言、討議、発表、取り組み等) 総合点の40%</li> <li>2 レポート (小課題・コメントペーパー等を含む) 総合点の60%</li> </ol> <p>上記の他に、本学の規定に定められている3/4以上の出席が単位の取得条件であることも配慮する。</p>		
12. 受講生へのメッセージ	<p>本科目では、自分の考えを文章で表現することの楽しさを知り、文章力の向上を目的としている。目的を達成するために受講生は以下の条件を守ることを。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業中は、良き緊張感と集中力を保持して積極的な態度で授業に臨むこと。</li> <li>2. 講義内容について事前に教科書を読み、課題意識をもって講義に臨むこと。</li> <li>3. 自ら進んで発表したり、質問したりし、講義内容の理解に努めること。</li> <li>4. 配付プリントと一緒に綴じられる2穴のルーズリーフバインダーを1冊用意すること。</li> <li>5. 教科書、配付プリント、2穴のルーズリーフバインダーを毎回持参すること。</li> <li>6. 欠席、遅刻、早退をした場合は学習カードにその理由を記入すること。緊急事態が生じない限り、定刻に授業は開始する。</li> <li>7. 対面授業中の着帽、私語、飲食 (ガムを含む) 等は認めない。また、スマートフォンや携帯電話等は机の上に置かないで、バッグの中にしめておくこと。 (オンライン授業中は画面をオンにして顔が見えるようにすること。ネット環境が悪く画面をオフにしなければならないときはその旨をチャット若しくはメールで知らせること。)</li> </ol> <p>教員は以下のことを実行する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業の目的、目標を明確にし、授業の進行はシラバスに沿って行う。</li> <li>2. 受講生全体に聞こえる声で話しをするとともに、できるだけわかりやすく説明する。</li> <li>3. 一方通行の講義だけを行うのではなく、ディスカッションを行いながら、学生が積極的に授業に参加 (発言、発表等) できるよう双方向対話型の学習環境を目指す。</li> <li>4. 対面授業中の着帽、居眠り、私語、スマートフォンや携帯電話の使用等、授業に臨む上で不適切な言動が見受けられた場合は、厳格に対処する。</li> <li>5. 授業後にすぐには退室しないので (次の授業までの時間がとれる限り)、詳しく知りたいと思う内容があったら、遠慮なく尋ねること。</li> </ol>		
13. オフィスアワー	初回の授業時に指示する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	科目のガイダンス (シラバス、授業の進め方) 自己紹介文を作成し、発表する。文章を論理的につなぐ基本を学習する。「自己紹介文」を作成する。	事前学習	自己紹介がなぜ必要か、考えをまとめておく。
		事後学習	作成した自己紹介文を見直す。学修カードに理解した内容等をまとめ、提出する。自己紹介文を提出。

第2回	教科書『大学生のための文章表現練習帳』pp.12～19を解説する。常体・敬体の区別を学修する。	事前学習	教科書 pp.12～15を読み、問題を解く。
		事後学習	学修カードに理解した内容等をまとめ、提出する。文章によって常体・敬体を使い分けるときの注意点を整理しておく。
第3回	教科書『大学生のための文章表現練習帳』pp.26～31を解説する。主観・客観を意識する。論文の構成や段落の分け方を学修する。「紹介文1」を作成する。	事前学習	教科書 pp.26～31を読み、考えをまとめる。
		事後学習	学修カードに理解した内容等をまとめ、提出する。論文の構成・段落の分け方について整理しておく。「紹介文1」を提出する。
第4回	教科書『大学生のための文章表現練習帳』pp.32～37を解説する。話し言葉と書き言葉の違いを学習する。事実と意見の違いを学修する。「紹介文2」を作成する。	事前学習	話し言葉と書き言葉を日常会話や普段読んでいる本から探してくる。教科書 pp.32～37を読む。
		事後学習	学修カードに理解した内容等をまとめ、提出する。教科書の代表的な話し言葉と書き言葉を振り返る。事実と意見に注意して文章を書けるようにする。「紹介文2」を提出する。
第5回	教科書『大学生のための文章表現練習帳』pp.38～43を解説する。身近な問題をテーマに意見文について学修する。自分の立場を明らかにした書き方を学ぶ。「意見文1」を作成する。	事前学習	高校の時に学んだ小論文の書き方を復習しておく。教科書 pp.38～43を読む。
		事後学習	学修カードに理解した内容等をまとめ、提出する。意見文についての学修内容を確認する。「意見文1」を提出する。
第6回	教科書『大学生のための文章表現練習帳』pp.44～52を解説する。社会的な問題をテーマに意見文について学修する。「意見文2」を作成する。	事前学習	対話するときに、どこに注目しているか各自考えてくる。教科書 pp.44～52を読む。
		事後学習	学修カードに理解した内容等をまとめ、提出する。自分の立場を明らかにし説得力のある文章が書けているか振り返っておく。
第7回	前回の「見文2」続きを作成する。書きあがった者同士で交換し、さらに良い意見文になるための話し合いを行う。	事前学習	前回の自分の書いた「意見文2」を読み直し、どのように書いていくか考えてくる。
		事後学習	学修カードに理解した内容等をまとめ、提出する。自分の立場を明らかにした説得力のある文章が書けたか振り返る。「意見文2」を提出する。
第8回	教科書『大学生のための文章表現練習帳』pp.53～57を解説する。賛成・反対の意見文を学修する。「ディベート立論」を作成する。グループの中で、ディベートを行う。自分の立場を明らかにして、相手の話をしっかり聞き、自分の考えを話す。	事前学習	ディベートについて調べておく。
		事後学習	学修カードに理解した内容等をまとめ、提出する。自分のディベートの様子を振り返る。
第9回	教科書『大学生のための文章表現練習帳』pp.58～63を解説する。～になる（を）する前と後の文章を作成する。「Before/afterの文章1」を作成する。	事前学習	教科書 pp.58～63を読み、考えをまとめる。
		事後学習	学修カードに理解した内容等をまとめ、提出する。～をする前と後の変化のとりえ方を確認する。「Before/afterの文章1」を提出する。
第10回	教科書『大学生のための文章表現練習帳』pp.64～69を解説する。～になる（ができる）前と後の文章を作成する。「Before/afterの文章2」を作成する。	事前学習	教科書 pp.64～69を読み、考えをまとめる。
		事後学習	学修カードに理解した内容等をまとめ、提出する。～をする前と後の変化のとりえ方を確認する。「Before/afterの文章2」を提出する。
第11回	教科書『大学生のための文章表現練習帳』pp.85～97を解説する。敬語について学習する。「暑中見舞い」を書く。	事前学習	教科書 pp.85～97を読み、考えをまとめる。
		事後学習	学修カードに理解した内容等をまとめ、提出する。「暑中見舞い」を提出する。
第12回	『私の夏休み』という題で、自由に文章を書き、グループで発表しあう。	事前学習	どんな内容にするか考えておく。
		事後学習	学修カードに理解した内容等をまとめ、提出する。『私の夏休み』を提出する。
第13回	教科書『大学生のための文章表現練習帳』pp.70～77を解説する。対立軸と時間軸のある文章を学修する。「対立軸と時間軸のある文章」を書く。	事前学習	教科書 pp.70～77を読み、考えをまとめる。
		事後学習	学修カードに理解した内容等をまとめ、提出する。「対立軸と時間軸のある文章」を提出する。
第14回	教科書『大学生のための文章表現練習帳』pp.78～84を解説する。Before/afterの文章（応用編）で、レポートの準備・構成・書き方を学ぶ。「Before/afterの文章（応用編）」を作成する。	事前学習	今までの学習内容をふまえ、書き終えた文章をチェックする箇所について考えてくる。
		事後学習	学修カードに理解した内容等をまとめ、提出する。「Before/afterの文章（応用編）」を提出する。
第15回	最終レポート。この授業を受講した結果、文章力がどのように変化していったか、その過程を文章で説明する。「最終レポート」を書く。	事前学習	これまでの学修内容を振り返り、授業の成果について、考えをまとめておく。
		事後学習	学修カードに理解した内容等をまとめ、提出する。これまでの学習内容を振り返り、文章力の変化を確認する。「最終レポート」を提出する。